



今年の健康とゼロ災を誓って!!



CONTENTS 目次

新年のご挨拶	P2
仕事始め式・安全祈願祭	P2
新総代決定	P3
労働安全衛生大会 開催	P4
山の神祭礼・各種研修	P4
補助金を活用し山林を整備された方へ ...	P5
横田支所及び購販センター業務について ...	P5
職業体験受入	P5

魅山の会 活動報告	P6
納涼会を行いました	P6
交通安全・救急救命講習	P6
アスリート就職協力企業に登録しました!! ...	P6
森林組合の取組紹介	P7
購販センターからのお知らせ	P8
編集後記	P8

新年のご挨拶



仁多郡森林組合

代表理事組合長

絲原徳康



皆様には、ご健勝にて令和7年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より森林組合の事業運営各般にわたり、ご支援、ご協力を賜っておりますことに対し深く感謝申し上げます。

さて、昨年は一月の地震及び九月の大雨で能登半島地域が甚大な被害を受けました。近年、地震や気候変動による集中豪雨や極端な高温化、干ばつ等が世界各地で発生しており、日本国内でも毎年のように豪雨災害に見舞われているところです。

こうした中、再生可能な資源である木材を供給し、自然災害から人命財産を守り、CO₂の吸収など気候変動を緩和する機能を持つ森林の役割が、今こそ重要になっています。

「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業は、こうした課題に対処

し、中山間地域を活性化させ、持続可能な社会づくりに貢献できる取組みであり、島根県においては全国に先駆けて、主伐と再造林を軸とする取組みを進めています。

近年、国産材利用に向けた動きが加速し続けており、より一層、川上から川下の関係者が連携を深めて循環型林業を推進し、外材に頼らない島根県産材の供給体制を構築し、山村地域の発展を促していくことが私たちの使命であります。

また、令和6年度には森林環境譲与税の見直しが行われ、森林の多い地方への配分割合が高められたところです。この税が有効に活用され、循環型林業の取組みが一層拡大していくよう、我々も取り組んで参りたいと考えております。

組合では1月6日に安全祈願祭と

仕事始め式を行い、森林作業の安全と組合発展を誓いました。

組合を取り巻く環境は燃料や資材の高騰などにより以前に増して厳しい状況が続く中ではありますが、健全経営に向けて役職員一丸となって邁進して参る所存でございます。

本年は乙巳（きのと・み）と呼ばれる特別な年になります。蛇は脱皮する事から、巳年は新しい自分に生まれ変わるといった再生や進化の象徴ともされ、古代から縁起の良い年と知られています。この一年、安全を第一に業務に精励し、組合員の皆様の負託に応えられるよう努力して参りますので、皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

仕事始め式・

安全祈願祭

日時

令和7年1月6日

午前10時00分〜



場所

カルチャープラザ仁多

安全祈願祭 八幡宮 陶山浩嗣宮司を齋主に今年一年の安全と健康を祈願しました。

仕事始め式 組合長の訓示の後、職員・従業員を代表して、従業員協議会渡部会長が安全の誓いを読み上げ、森林管理隊 嵐谷隊長の号令で安全旗に向かい全員で指差呼称をし、今年こそはゼロ災害を達成すべく誓いました。



新総代決定

総代任期満了に伴う新総代の推薦及び立候補を、去る2月1日に締め切ったところ、各選挙区とも総代定数と同数であり投票は行われず次の方に決定しました。よろしくお願ひ致します。

なお、新しく就任された総代の任期は令和7年2月24日から令和10年2月23日まで（3年間）となります。

第1区 仁多地域 (100名)	安部 昭 宏	福 田 充 雄	部 田 博 善	小 川 友 之
	須 山 重 信	藤 原 修	落 合 勝 敏	松 崎 保 治
	亀嵩地区 23名	山 根 義 人	藤 木 俊 成	石 原 誠
布勢地区 18名	米 原 友 雄	高 橋 修	横田地区 29名	水 田 信 美
西 村 義 昭	藤 原 申 治	坪 倉 武 志	足 立 隆 志	中 林 實
藤 原 久 一	佐 藤 安 則	松 原 宗 治	山 本 正 志	藤 原 敏 治
藤 井 裕 久	佐 藤 秋 男	荒 金 光 正	浅 野 哲	石 原 博
宇田川 正 人	横 路 仁 朗	戸 田 祐 久	岩 佐 重 信	中 林 照 夫
内 田 光 彦	佐 藤 昌 利	三沢地区 13名	藤 原 隆 司	安 部 武
陶 山 昌 明	比和野 誠 治	吉 川 康 夫	上 田 典 弘	佐 藤 由 昭
藤 井 健 史	岩 名 英 明	梅 木 義 道	松 岡 道 夫	安 部 修 史
石 原 武 志	岩 田 年 之	佐 藤 雄 三	内 田 和 夫	松 崎 洋 樹
岸 本 徳 光	小 笹 敏 範	長谷川 利 治	田 部 利 昭	小早川 貞 利
山 田 伸 二	三 澤 良 徳	藤 原 治	高 木 茂	上 田 仁
恩 田 光	佐 藤 光 明	森 山 富 夫	内 田 薫	藤 原 久
植 田 昭 宣	石 原 宏 二	渡 部 幸 雄	安 部 正 人	田 部 壽 子
石 原 正 義	村 上 輝	朝 倉 一 彦	川 西 均	馬木地区 26名
妹 尾 勝 友	内 田 俊 雄	内 田 幸 伸	安 部 備 造	杠 良 智
内 田 久 貴	若 槻 武 男	森 山 公	多 根 一	野 原 万寿老
岩 田 俊 次	原 田 勲	藤 原 研 一	荒 金 智 之	千 原 正 範
友 塚 清 次	鳥 谷 幹 雄	大 坂 秀 人	松 崎 武 俊	青 木 秀 樹
岩 田 勝 美	久 井 一	佐 貫 秀 幸	石 原 良 治	大 塚 光 佳
三成地区 22名	小 林 幹 也	第2区 横田地域 (100名)	松 本 亨	眞 田 猛
安 原 利 明	石 原 寿 伸		須 山 徳 一	蔦 川 康 雄
藤 原 整 二	若 槻 幹 穂		杠 照 男	田 中 克 彦
森 桜 俊 治	伊 藤 正 樹	鳥上地区 20名	岡 田 篤 志	戸 屋 登
石 山 和 敏	阿井地区 24名	佐 藤 勉	内 田 弘	澤 井 浩 二
藤 原 武 志	木地谷 団 一	藤 原 包 房	谷 口 栄	吉 川 光 則
藤 原 賢	田 部 邦 男	正 木 一 徳	出来山 達 朗	藤 原 英 伸
和久利 充 雄	糸 賀 満 広	堀 江 一 栄	松 崎 光 晴	杠 直 臣
内 尾 富 長	史 陀 秀 俊	景 山 守 保	吾 郷 富 士 男	山 田 隆
渡 部 省 二	竹 内 長 雄	松 崎 敦 史	藤 原 優	石 原 善 博
川 西 孝 行	安 部 義 治	高 尾 修	部 原 広	藤 崎 義 樹
山 田 孝 之 助	若 槻 輝 夫	安 部 昌 平	八川地区 25名	佐 佐 木 幸 雄
渡 部 謙 二	長谷川 勝	浅 野 清	田 尾 清	安 部 将 行
川 西 雅 之	山 田 賢 治	松 本 清 洋	中 湯 登	山 崎 百 合 枝
川 西 基 吉	山 田 哲 夫	畑 幸 雄	武 繁 隆 行	松 本 巖
和久利 裕 一	立 石 好 美	安 田 充 志	荒 木 正	野 津 強
藤 原 好 夫	山 本 宏 二	松 崎 利 明	野 沢 逸 男	内 田 博
小田川 一 志	藤 原 富 雄	長 澤 嘉 昭	堀 尾 敏 久	蔦 川 泰 雄
内 田 義 治	藤 原 修	荒 木 輝 於	友 塚 昭 二	三 澤 明 大
糸 賀 慎 二	内 田 正 次	恩 田 洋 一	佐 伯 勝 年	藤 原 努 志
村 尾 良 吾	藤 原 信 夫	嵐 谷 直 明	高 田 雅 生	立 石 和 之

労働安全衛生大会 開催

令和6年7月4日、カルチャープラザ仁多において労働安全衛生大会を開催しました。堀江専務の挨拶の後、各種表彰を行い、意見発表は、管理隊の景山優太さんと従業員の宇田純貴さんがそれぞれの経験と培ってきた知識を基に意見発表を行いました。その後、労働衛生講習会として、株式会社ミック 代表取締役社長 宮脇和秀様を講師として「人や良き仕組みの定着には風土作りを」の講演、また、労働安全講習会は、島根県東部農林水産振興センター雲南事務所 林業普及第二課 林業普及員 名生啓晃様と林業普及第一課 主任 林業普及員 石橋悠樹様を講師に「林内作業における注意すべき野生動物について」の講演をそれぞれしていただきました。最後に全員で安全の誓いを決議し、ゼロ災への決意を新たにしました。



労働安全衛生標語

労働安全 標語

「迷ったら 迷わず中断 安全確認」

松原絵里香主任主事

労働衛生 標語

「心と体を大切に 自ら進んで健康づくり」

伊藤夏希主任主事

【優良班長表彰】

立石義人班長



【無事故競争表彰】

代表 渡部将美会長

【意見発表者】

管理隊 景山優太さん



【意見発表者】

従業員 宇田純貴さん



山の神祭礼・各種研修

11月18日、亀嵩の事業合同センターで山の神祭礼を執り行いました。役員従業員一同、山の恵とそこで仕事ができる事に感謝し、今後の安全作業と組合事業の発展を祈願しました。また、祭礼後は旧高田小学校体育館を会場に、人権同和研修としてLGBTQ講師 佐藤みどり様による「みんなが生きやすい未来について」を研修しました。研修では、多様性を認める時代に必要な知識や考え方を学びました。その後、森林組合代表監事 糸原裕朋様による「コンプライアンス研修」を行いました。研修では、実例を交えてコンプライアンスとは何かを分かりやすく学びました。午後からは、事業合同センターで伐木研修を行いました。研修では森川班長・北村班長指導の基、安全で正確な伐木方法・手順等、実際に丸太を伐って実践しました。正しい値が数値化されていたので、伐木後計測して今の自らの力量と目標を再確認しました。



LGBTQ講師 佐藤みどり様



横田購販センターからお知らせ

横田支所及び購販センター 業務について (お知らせ・お願い)

平素は森林組合購販センターをご利用頂き誠にありがとうございます。この度、令和7年4月から横田の修理部門を本所（三成）へ移動し営業致します。なお、横田での購買品取扱いは、令和7年9月末を目途として当面の間営業致しますが、その後は全ての業務を本所へ移管する予定です。そのことから、横田での店舗営業日は週3日程度の営業とさせていただきます、営業日に関するお知らせを店頭及びホームページに掲載致します。ご不明な点は総務課（電話54-0021）までお願い致します。ご利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

補助金を活用し **注意!!** 山林を整備された方へ ～本当に気を付けてください!!～

森林環境保全事業の補助金を活用して、再造林や間伐などの山林の手入れを行った場合、翌年度から数えて**5年間**はその山林の伐採や販売、森林以外への転用は出来ません。もし違反した場合、**補助金を返還**しなければなりませんのでご注意ください。面積によってはかなり大きな金額になります。手入れした山林の伐採を計画される場合は、一度、森林組合までご相談ください。



職業体験受入

【島根県立農林大学校 林業科】

9月9日～13日の5日間

大学2年生 1名

島根県立農林大学校 林業科の生徒さんが就業体験にられました。測量や図面作成、写真管理など職員と一緒に山を歩き色々な体験をしていただきました。

【中学校職場体験】

10月1日～3日

仁多1名 横田2名 中学3年生 3名

仁多・横田それぞれの中学校から職場体験にきていただきました。3日間で様々な作業をしていただきましたが、特に林産現場での重機オペレーター体験では、みなさん筋が良く上手に操作をされていました。

【横田高校 林業カフェ】

横田高校 1年生 66名

森林組合の若手職員を派遣し高校生とお菓子を食べながら、色々なお話しをしました。仕事のこと、趣味のことなどを話し、楽しく交流できました。このイベントをきっかけとして林業に興味を持っていただければ幸いです。



納涼会を行いました

令和6年8月2日、恒例の納涼会を行いました。BBQを囲みながら楽しく賑やかに親睦を深めました。



魅山の会 活動報告

11月27日 出雲木材市場で町外研修を行いました。木材市場の競りの様子を見学。当日は仁多郡森林組合からの出木もあり、一同興味深く研修しました。



交通安全・救急救命講習

10月18日 カルチャープラザ仁多で交通安全講習及び救急救命講習を行いました。交通安全講習は、三成広域交番の秦野所長を講師に、実際に起きた交通事故のDVD映像を見て危険ポイントや予防方法を学びました。救急救命講習では、日本赤十字社に講師を派遣していただき胸骨圧迫法、AEDの使用について学びました。これらの講習は毎年行っております。交通安全は自らも他人も守る事になります。また、有事の際に自分にとって大切な人や、誰かにとって大切な人の命を救うため繰り返し訓練を続けていきます。



交通



救命

アスリート就職協力企業に 登録しました!!

2030年に鳥根で開催される「かみあり国体」へ向けて、競技力向上、大会後のスポーツ振興への貢献をする人材確保のため、全国で活躍する選手、指導者の就職支援をする活動です。仁多郡森林組合も協力企業として登録しました。仕事とプライベートの時間バランスがとても良い職場です。奥出雲へ帰ってきてスポーツと仕事を両立させたいと思っている学生、社会人の方がおられましたら是非お声がけ下さい。

詳しく知りたい方はお気軽に総務課までお問い合わせください。

2030 自分を育て、仲間をつくれ

鳥根かみあり国スポ

国スポを目指す
アスリートのみなさまへ

選手・指導者 募集

鳥根かみあり国スポを
一緒に盛り上げましょう!

丸山 達也

経済界が一丸となり
アスリートを支えます!

田部 長右衛門

「アスリートジョブサポートしなご」とは
2030年に開催される予定している鳥根かみあり国体に向け、競技力向上、大会後も本場のスポーツ振興に貢献していくため、人材確保のため、全国で活躍する選手や指導者の県内企業等への就職支援を行う特別支援団体です。(国の指定事業)

鳥根かみあり国スポ全スポ
2030

森林組合の取組紹介～施業の低コスト・省力化について～

- **機械による地拵え**…植栽前に重機を使って植付場所を整理することで、従来の手作業に比べて労働生産性が向上します！また、表土を掻き均すことで植栽後の雑灌木の繁茂を抑制し下刈作業時の負担軽減につながります！
- **コンテナ苗の植栽**…従来の裸苗（根がむき出しの苗）に代わるコンテナ苗（野菜苗のような根鉢のある苗）を用いることで植付作業の負担軽減と活着率の向上が期待できます！
- **伐採と造林の一貫作業**…伐採作業を行いながら現場にある重機を用いて植栽までの準備を行います。木材搬出と機械地拵えを並行的に行うことで植栽までのコストを抑えることができます！また、搬出車両を用いた苗木運搬も検討しています。

森林組合の取組紹介

施業の低コスト・省力化について

造林・収穫事業にかかる作業負担の軽減と森林所有者の収益性向上を目指して、森林組合では機械による地拵え、コンテナ苗の植栽、収穫と再造林の一貫的な作業を行っています。

■機械による地拵え

植栽前に重機を使って植付場所を整理することで、従来の手作業に比べて労働生産性が向上します！また表土を掻き均すことで植栽後の雑灌木の繁茂を抑制し下刈作業時の負担軽減につながります！

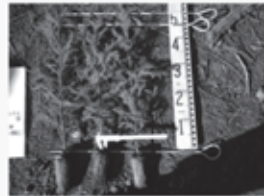


■コンテナ苗の植栽

従来の裸苗（根がむき出しの苗）に代わるコンテナ苗（野菜苗のような根鉢のある苗）を用いることで植付作業の負担軽減と活着率の向上が期待できます！



裸苗（普通苗）

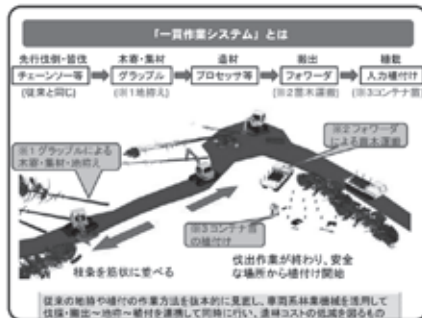


コンテナ苗

©Q&A 森林トップ

■伐採と造林の一貫作業

伐採作業を行いながら現場にある重機を用いて植栽までの準備を行います。木材搬出と機械地拵えを並行的に行うことで植栽までのコストを抑えることができます！また、搬出車両を用いた苗木運搬も検討しています。



その他、ドローンを使った苗木運搬、衛星情報を使った測量技術など、林業界では先進的な技術の開発が進んでおり、私たち森林組合も創意と工夫を生かし、さらなる高みを目指して頑張っています！



***住所、連絡先等が変わった場合は連絡を**

転居などにより住所や連絡先が変更になった場合は組合まで連絡をお願いします。組合から大切なお知らせをお届けできなくなる場合があります。ご協力をお願い致します。



購販センターからのお知らせ

電話 52-1597
FAX 52-0542



切炭 12kg



たどん 10kg



M801-ML 型
ツムラチップソー研磨機
¥25,900(税込)



shindaiwa®

E2235S/350
¥81,400(税込)



E2125TS/250
¥60,500(税込)



ジュラルミン操作桿
RM3027
¥69,300(税込)
RM3025
¥62,700(税込)



RA3123
¥58,300(税込)
RA3021
¥51,700(税込)



SGC-S402A

サイクロン式
エアクリーナ搭載



SGC705RD



編集 後記

寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。大雪の除雪作業も大変でした。しかし、暖かい春はもうすぐです。健康管理には十分ご留意していただき、皆さまの今年一年が良い年になることをお祈りいたします。
(T.M)

お問い合わせ・ご連絡はこちらまで

本所

〒699-1511 仁多郡奥出雲町三成444-2
☎(0854)54-0021 FAX(0854)54-1004

横田支所・購販センター

〒699-1822 仁多郡奥出雲町下横田100-1
☎(0854)52-1597 FAX(0854)52-0542

事業合同センター

〒699-1701 仁多郡奥出雲町亀高2568-1
☎・FAX(兼用) (0854)57-0086